TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエス・キリストの即位　すべての人に侮辱されたイエス

マタイによる福音書 27:27-44

2024 年 7 月 20 日 & 21 日
余沢 武　牧師

I. はじめに

みなさん、こんにちは。私たちは、ユダヤの権力者たちがイエスを冒涜の罪で告発し、死刑宣告し、ローマ総督ピラトに十字架につけるように求めたことを見てきました。

ピラトは、しぶしぶイエスを死刑に処することに同意し、鞭打ちを課します。今日はイエスがどのようにして十字架につけられたかを見ていきます。

まずはお祈りしましょう。

II. すべての人に侮辱されたイエス

(1)神のご計画

マタイ 27:27－31 を開いてみましょう。

「[27] それから、総督の兵士たちは、イエスを総督官邸に連れて行き、部隊の全員をイエスの周りに集めた。[28] そして、イエスの着ている物を剝ぎ取り、深紅の外套を着せ、[29] 茨で冠を編んで頭に載せ、右手に葦の棒を持たせて、その前にひざまずき、『ユダヤ人の王、万歳』と言って、侮辱した。[30] また、唾を吐きかけ、葦の棒を取り上げて頭を叩いた。[31] このようにイエスを侮辱したあげく、外套を脱がせて元の服を着せ、十字架につけるために引いて行った。」

兵士たちは、イエスを鞭打ちに処した後、屋内に連れて行き、深紅の外套を着せ、茨の冠を頭に載せ、右手に葦の棒を持たせ、その前にひざまずき、「ユダヤ人の王、万歳」と言って侮辱しました。

その後、イエスに唾を吐きかけ、葦の棒で彼の頭を叩き、十字架につけるために引いていきました。

32－35 節です。

「[32] 兵士たちは出て行くと、シモンという名前のキレネ人に出会ったので、この人を徴用し、イエスの十字架を担がせた。[33] そして、ゴルゴタという所、すなわち「されこうべの場所」に着くと、[34] 胆汁を混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスはなめただけで、飲もうとされなかった。[35] 彼らはイエスを十字架につけると、くじを引いてその衣を分け合い、」

彼らはイエスをゴルゴタ(頭蓋骨の場所という意味)に連れて行きました。その場所が人間の頭蓋骨に似ていたからです。また、ラテン語で頭蓋骨は「カルワリア」であるため、今ではその場所は「カルバリー」と呼ばれるようになりました。

通常、死刑囚は自分の十字架を自分で運びますが、恐らくイエスは鞭打ちで受けた傷のせいで弱っていたため、シモンという男に十字架を運ばせました。

そしてイエスは十字架につけられました。紀元前 1 世紀のローマの弁論家キケロは、十字架刑を「最も残酷で最も恐ろしい拷問」と表現しました。しかし興味深いことに、マタイは十字架刑についてほとんど触れていません。その代わりに、ギリシャ語で書かれていたこの箇所では、2 つの出来事に重点を置いています。

1 つ目は 34 節にあります:「胆汁を混ぜたぶどう酒を飲ませようとした」
2 つ目は 35 節にあります:「くじを引いてその衣を分け合い」
そして、「イエスを十字架につけると」が十字架刑について書かれている唯一の箇所です。

それはなぜでしょうか。私たちのほとんどは十字架刑にもっと重点を置くと思います。理由はこれです。これらの箇所がイエスがメシア(救い主)であることを証明したからです。イエスが十字架につけられた 1000 年前から、ダビデはメシアについてこのように預言していました。

詩編 69:22
「[22] 彼らは私の食物に毒を入れ 渇く私に酢を飲ませようとします。」

詩編 22:17 後半～19
「[17]…私の両手両足を囲んでいる。[18]私は骨をみな数えることができる。彼らは目を留めて、私を眺め回す。[19]私の服を分け合い 衣をめぐってくじを引く。」

イエスが十字架につけられたことはとても恐ろしい出来事でしたが、マタイは私たちがこの場面で見ているのは、神がメシアであるイエスを通して、神の救いのご計画を実行していることだと伝えたかったのでしょう。

クリスチャンとして私たちが理解しないといけないのは、私たちが心から神を愛しているのなら、人生で起きるすべての出来事は私たちのためにある神のご計画によって起こっていることです。すべての出来事です！

それは今直面している一番大きな問題でさえも、です。結婚、仕事、人間関係、教会、私たちが抱えるすべての問題です。全て神の子として私たちを神に近づけるためにある、神のご計画の一部です。

パウロがローマ 8:32 でこう言いました。
「[32] 私たちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものを私たちに賜らないことがあるでしょうか。」

そしてイエスが十字架につけられたことも神のご計画の一部でした。私たちが現在直面している問題もその一部です。ですから、今どのような問題に直面していても、神が今、あなたのために何かをしてくださっていることを覚えておいてください。

(2)これはイエスである

まだ続きます。

36－38 節

「[36] そこに座って見張りをしていた。[37] イエスの頭の上には、『これはユダヤ人の王イエスである』と書いた罪状書きを掲げた。[38] 同時に、イエスと一緒に二人の強盗が、一人は右にもう一人は左に、十字架につけられた。」

神がすべてをコントロールしているからこそ、兵士たちの行動だけでなく、ピラトの行動からも、イエスがメシアであるということが表れています。ピラトはイエスの罪状書きには何でも書くことができたにも関わらず、「これはユダヤ人の王イエスである」―メシアという意味―と記しました。

ピラトは「これは…イエスである」と書きました。これはヘブライ語の名前「イェシュア」のギリシャ語訳で、この名前は二つの単語から成ります。「ヤー」は神の名「ヤハウェ」から、「シュア」は救うという意味の「ヤシャ」から来ています。ですから、十字架にピラトが書いて宣告したことはこうなります。「これは…イエスである」、つまり「これはヤハウェの救いである」、と。

それだけではなく、「ユダヤ人の王」、つまり「メシア」でもあります。

この十字架上で、イエスの統治が始まろうとしています。王国が樹立されようとしています。扉が開かれようとしています。そして、そこの二人の強盗たちで表されているように、すべての罪人がその王国に入るよう招かれています。

(3)すべての人に侮辱されたイエス

しかし敵は静かにしていませんでした。

39－44 節
「[39] そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスを罵って、[40] 言った。『神殿を壊し、三日で建てる者、神の子なら、自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。[41] 同じように、祭司長たちも律法学者たちや長老たちと一緒に、イエスを侮辱して言った。[42] 『他人は救ったのに、自分は救えない。イスラエルの王だ。今すぐ十字架から降りるがいい。そうすれば、信じてやろう。[43] 彼は神に頼ってきた。お望みならば、神が今、救ってくださるように。『私は神の子だ』と言っていたのだから。』[44] 一緒に十字架につけられた強盗たちも、同じようにイエスを罵った。」

神の預言が成就し、メシアが神の王国への扉を開き始めようとした時、敵の攻撃は始まりました。通りかかった人はイエスを侮辱しました。権力者たちはイエスを侮辱しました。両側にいた強盗たちも彼を侮辱しました。まるでサラウンドサウンドシステムがある映画館にいるかのようでした。

しかし、人々がイエスを侮辱している内容の中に共通のメッセージがありました。
通りかかった人はこう言いました：「神の子なら、自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い」
権力者たちはこう言いました：「今すぐ十字架から降りるがいい。」、「神が今、救ってくださるように。」
強盗たちはこう言いました：「同じようにイエスを罵った」―彼らもほかの人と同じことを言っていました。

彼ら全員が、イエスが降りて来られないだろうと思って、イエスをあざけり、降りてくるようにと挑発していました。しかし、質問があります。イエスは本当にそこから降りることができなかったのでしょうか。

降りることができました。想像してみてください。イエスは十字架から降りることができると知りながら、そこに留まり、恐ろしい苦痛に耐えました。敵の攻撃方法が見えましたか。

40 節をもう一度見ましょう。「神の子なら(単純な条件文であり、主観抜きで「神の子なら」を意味している)…十字架から降りて来い。」

イエスが宣教活動を開始した時に、サタンの最初の攻撃を覚えているでしょうか。
こう言いました。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」(マタイ 4:3) でした。
そして次に言ったのが、「神の子なら、飛び降りたらどうだ。」(マタイ 4:6) でした。
イエスが侮辱されていた時に、背後に誰がいたのでしょうか。

イエスが宣教活動を始めた時から、サタンはことあるごとに、イエスが十字架の上で死ぬことを止めようとしていました。

40 日間の誘惑を通して止めようとしました。
ペテロを使って止めようとしました。その時、イエスはペテロのこう言いました。「サタンよ、引き下がれ」、と。
ゲッセマネの園でも誘惑しました。そして、イエスは「この杯を私から過ぎ去らせてください。しかし、私の望むようにではなく、御心のままに」と祈りました。
この箇所がサタンの最後のチャンスでした。全力を尽くして、全員を使って、イエスが十字架から降りるようにと誘惑しました。そして、イエスは沈黙したままでした。父なる神を信頼し、神に対して完全に従順でした。そして、これを通して敵は打ち破られました。ここで今、神の栄光があらわれています。

霊的戦いはこのように戦います。サタンは私たちに欲望、お金、成功を追うように、私たちを誘惑します。しかし、私たちが神を信頼し続ければ、神の栄光を見ることができるでしょう。

十字架上でイエスが従順であったことにより、すべての罪人に救いの扉が開かれました。それは、二人の強盗に対しても、です。ルカによる福音書はその出来事について教えてくれます。

ルカ 23:39−43 にこうあります。

「[39] はりつけにされた犯罪人の一人が、イエスを罵った。『お前はメシアではないか。自分と我々を救ってみろ。』[40] すると、もう一人のほうがたしなめた。『お前は神を恐れないのか。同じ刑罰を受けているのに。[41] 我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。』[42] そして、『イエスよ、あなたが御国へ行かれるときには、私を思い出してください』と言った。[43] するとイエスは、『よく言っておくが、あなたは今日私と一緒に楽園にいる』と言われた。」

イエスがメシアとして十字架にとどまったため、神の国への扉が開かれました。一人の強盗は怒りと疑念を持ち続けましたが、もう一人の強盗はこう言いました。「イエスよ、あなたが御国へ行かれるときには、私を思い出してください」、と。

2 人目の強盗はイエスがメシアであることを信じました。そしてイエスの死と復活の後、彼の王国を樹立することも信じました。その強盗は、イエスの十字架につけられていた時のへりくだった姿勢を通して神の神聖さを見たのかもしれません。十字架上のイエスの兵士たちのための憐み深い祈りや父なる神への親密な祈りで納得したのかもしれません。

理由が何であれ、彼はイエスが自分のような罪人を救うことができる救い主であると確信しました。そこで彼は謙虚にイエスに憐れんでくれるように求めました。その時、イエスは沈黙を破り、こう言いました。「あなたは今日私と一緒に楽園にいる」、と。イエスはその日、その強盗に永遠の命を約束しました。

私たちは全員、罪人です。私たちは全員、十字架の前に来るように招かれています。しかし、私たちはどちらの強盗でしょうか。私たちは怒りと疑念をもってイエスの前にいきますか。それとも、謙虚な心と信仰をもってイエスの前に行きますか。

神の国の扉は開いています。もしあなたがイエスを主と救い主として受け入れていないのなら、謙虚な心と信仰をもってイエスのもとに行き、罪を赦して新しい人生を与えてくださるようお願いしてください。そうすれば、あなたも今日からイエスと共に新しい人生を歩み、そしてある日イエスと一緒に楽園にいます。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3024jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月8日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

☆クラス 201
霊的成長について
9月22日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件：クラス 101 を修了し、メンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4．日本語訳レイアウト＆印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org